

だい ぶ か だい
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持
参ください。

だい かい
第18回
まいにち にゆうりよく
毎日パソコン入力コンクール
ぜんこくたいかい
全国大会
【課題】
だい ぶ わ ぶん しょうがくせいこうがくねん
第5部 和文A 小学生高学年
ことわざ・慣用句②
せいげんじかん ふん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、小学館 例解学習ことわざ辞典 第二版より引用しました。
(文字数2,200字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ
<課題文章の禁則文字について>

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん
一般社団法人

にほん のうりよくけんていいんかい
日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省

もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゆうりよく
1行32字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。

のう たか つめ かく
能ある鷹は爪を隠す 


ほんとう じつりよく さいのう ひと み
本当に実力や才能のある人は、やたらにそれを見せびらかしたりはし
ない。 

のう たか つめ かく きみ うた
能ある鷹は爪を隠すだね、君がこんなにも歌がうまいとは。 





みが
磨きがかかる 


れんしゅう けいけん つ かし けっか わざ げい
練習や経験を積み重ねた結果、技や芸がよりすぐれたものになる。 

けいけん つ えんそう みが
経験を積んで演奏に磨きがかかる。 





ふ わ らい どう
付和雷同 


じぶん かんが も かんたん ひと いけん したが
はっきりとした自分の考えを持たず、簡単にほかの人の意見につき従
うこと。 

ふ わ らい どう ぐんしゅう ぞくぞく くわ おお
付和雷同する群衆が続々と加わり、さわぎが大きくなる。 




たね は
まかぬ種は生えぬ 

まえ どりよく けっか う げんいん けっ
前もって努力しなければ、よい結果は生まれない。原因がなければ結
果はない。 

べんきょう だいがく たね は
勉強しなくちゃ大学はむり、まかぬ種は生えぬよ。 





ひと ふ み わ ふ なお
人の振り見て我が振り直せ 

たにん おこな み じぶん はんせい なお
他人の行いを見て、自分を反省し、直すところがあれば直しなさい。 

れんしゅう ひと ふ み わ ふ なお
練習しないとああなるぞ、人の振り見て我が振り直せ。 





しん き いったん
心機一転 


あることをきっかけにして、気分がすっかり変わることに。 

ちゅうがくせい しん き いったん きゅう べんきょう
中学生になって心機一転、急に勉強するようになった。 




ちや こ
お茶の子さいさい 


かんたん
簡単にできること。たやすいこと。 

ひゃく およ ちや こ
百メートル泳ぐくらいは、お茶の子さいさいだ。 



くも うえ ひと
雲の上の人 

て とど ところ ひと
手の届かない所にいる人。 

ひと ひと くも うえ ひと
あの人はわたしにとっては雲の上の人だ。 



ところか かわれば 品 変わる。↓
土地がちがうと風俗・習慣・ことばなどもちがう。↓
ところか かわれば 品 変わるで 食事の仕方もちがう。↓

↓
ぼうちゆうかん 忙中閑あり。↓
いそが 忙しい中にも いったき 一時ひまのあること。↓
ぼうちゆうかん 忙中閑あり、ひといき 一息つこう。↓

↓
あうんの 呼吸。↓
ふたり 二人の気持ちや動きがぴったり合うこと。息が合うこと。↓
はな 話さなくてもそこはあうんの呼吸で、気持ちも通じている。↓

↓
かたで 風を切る。↓
かたをそびやかしていばって歩く。↓
いま 今や人気絶頂で、かたで風を切る勢いだ。↓

↓
いちを聞いて 十を知る。↓
あたま 頭がよくてすぐわかる。理解が速い。↓
かれ おきな 彼は幼い時から一を聞いて十を知る天才だった。↓

↓
きしよくまんめん 喜色満面。↓
よろこ 喜びが顔いっぱい表れているようす。↓
きしよくまんめん 喜色満面で表彰台に立つ。↓

↓
いきをのむ。↓
いきと 息が止まるほどおどろく。はっとする。↓
しろ 白くかがやく、山なみの美しさに息をのむ。↓

↓
きてん 機転を利かす。↓
あたま はたら とっさに頭を働かせてその場にふさわしい行動をとる。↓
きてん 機転を利かして、とっさに毛布をかぶせて火を消し止める。↓

↓
てをにぎる。↓
なかなお 仲直りをする。協力して事に当たる。同盟を結ぶ。↓
りやうこく 両国は、過去のわだかまりを捨て、固く手をにぎり合った。↓



待てば海路の日和あり

今はうまくいなくても、じっと待っていれば、必ずいい時が来る。

あせるな、あせるな、待てば海路の日和あり。



ぶっつけ本番

練習や準備もなしでいきなり行うこと。

ぶっつけ本番で火事の場면을撮影する。



足がすくむ

足が縮むように感じて動けなくなる。

見下ろすとあまりの高さに足がすくむ。



風の便り

風が運んでくるように、どこからともなく伝わってきたこと。うわさ



。パリで暮らしていると風の便りに聞く。



抱腹絶倒

腹をかかえ倒れるほど大笑いすること。

あまりのおかしさに抱腹絶倒する。



歯に衣着せぬ

思った通りを遠慮せずにはずばずば言う。

相手の歯に衣着せぬ言い方にむっとする。



青天白日

心にやましいことがなく、晴れ晴れとした気分のこと。また、無罪で

あることがはっきりすること。

無実が認められ、青天白日の身となる。



机上の空論

頭の中で考えただけの、実際には役に立たない考えや計画。

そんなのできっこない、机上の空論だよ。



味も素っ気も無い

何の味わいもおもしろみもない。思いやりもなくつめたい。つまらない。

味も素っ気も無い冷ややかな態度。

↓

過ぎたるは及ばざるがごとし

やり過ぎは、足りないのと同じでよくない。ものごとにはちょうどよい程度というものがある。

いくら運動が健康によいといっても、運動をし過ぎては、過ぎたるは及ばざるがごとしで、かえって体をこわして運動不足と同じことになってしまう。

↓

花も実もある

見た目が美しいだけでなく、中身も素晴らしい。また、人情がこもっている。

花も実もある見事な演奏。花も実もある粋なはからいに感謝する。

↓

かたずをのむ

どうなることかと息をのんで、緊張している。

一挙一動をかたずをのんで見守る。

↓

えりを正す

服装や姿勢をきちんとし、まじめな気持ちで事に当たる。態度を改める。

先生からの忠告をえりを正して聞く。

↓

七転び八起き

何回失敗してもくじけずに、立ち上がる。人生には浮き沈みが多いことのとえ。

何のこれしき、人生七転び八起きさ。

↓

開いた口がふさがらない

あきれてものが言えない。

あまりのずうずうしさに開いた口がふさがらない。

↓

悲喜こもごも

悲しい事とうれしい事が、かわるがわる起こること。また、入りまじること。

合格発表のけい示板の前では悲喜こもごもの表情が見られた。

言うまでもない

わざわざ口に出して言わなくても、わかっている。当然のことだ。

どの命もかけがえのないことは言うまでもない。

相づちを打つ

話を聞きながら、「うんうん」「なるほど」などと、同意したり、うなずいたりして相手の話に調子を合わせる。

友達の話に「ほんとだね」と相づちを打つ。

手取り足取り

親切に細かく教えこむこと。

泳げない初心者に手取り足取りで教える。

話し上手は聞き上手

話の上手な人は、相手の話をよく聞く人でもある。

話し上手は聞き上手、自分のことばかり話す人は話し上手とは言えないよ。

胸に刻む

しっかり心にとどめる。心に刻む。

恩師の言葉を胸に刻んで卒業する。

蜂の巣をつついたよう

手がつけられないほどの大きわざになるようす。

先生が結婚するといううわさに、教室中が蜂の巣をつついたような大きわざになった。